

ふなばしタウンレポート

このレポートは、幅広く市民の皆さまの声をお聞きし、市政に反映するために、令和元年8月に実施した「船橋市市民意識調査」の主な結果をとりまとめたものです。

船橋市では、魅力あるまちづくりをめざし、市民の皆さまといっしょに今後の施策を展開してまいりたいと考えております。

<「船橋市市民意識調査」の概要>

- (1) 調査対象 船橋市在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人
(2) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
(3) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収）
(4) 調査期間 令和元年8月22日（木）～9月9日（月）
(5) 有効回収数 1,425 人（47.5%）

- ◆集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ◆（n）は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。
- ◆回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- ◆本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

回答者のプロフィール

(1) 性別

	基数	構成比 (%)
1. 男性	579	40.6
2. 女性	773	54.2
(無回答)	73	5.1
合計	1,425	100.0

(2) 年齢

	基数	構成比 (%)
1. 18～29 歳	154	10.8
2. 30～39 歳	252	17.7
3. 40～49 歳	341	23.9
4. 50～59 歳	288	20.2
5. 60 歳以上	317	22.2
(無回答)	73	5.1
合計	1,425	100.0

(3) 居住地区

	基数	構成比 (%)
1. 南部地区	284	19.9
2. 西部地区	336	23.6
3. 中部地区	169	11.9
4. 東部地区	360	25.3
5. 北部地区	188	13.2
(無回答)	88	6.2
合計	1,425	100.0

船橋市 市長公室 市民の声を聞く課

〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25 ☎ 047 (436) 2784

ホームページ <https://www.city.funabashi.lg.jp/>

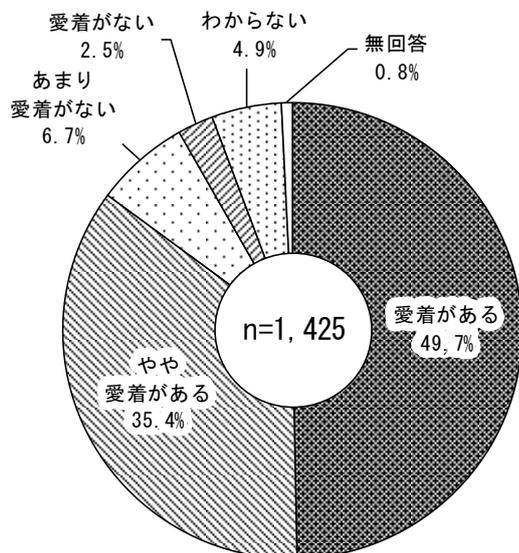
メールアドレス shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp

令和2年4月

1 住みごころについて

(1) 船橋市への愛着

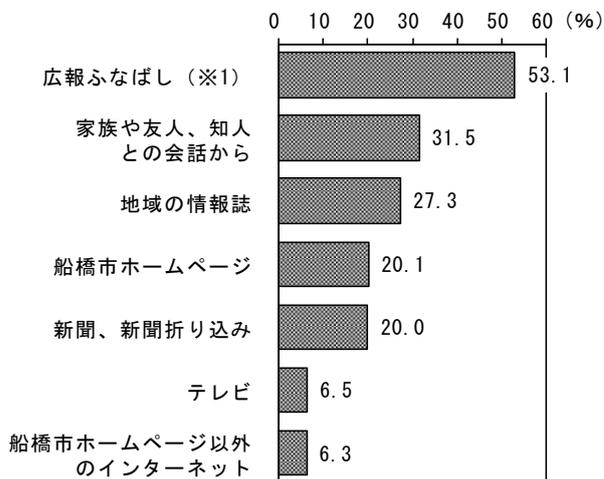
◇「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた割合は、8割を超えている



2 広報活動について

(1) 市の事業やイベント等情報の入手方法

◇「広報ふなばし」から情報を得ている人は、最も高く5割を超えている

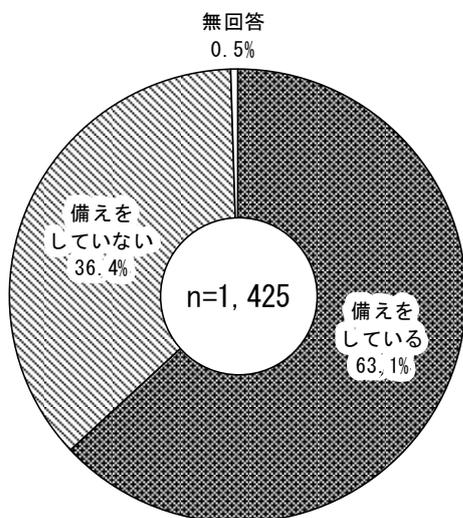


(※1) スマートフォン用アプリ「マチイロ」含む

3 災害への備えについて

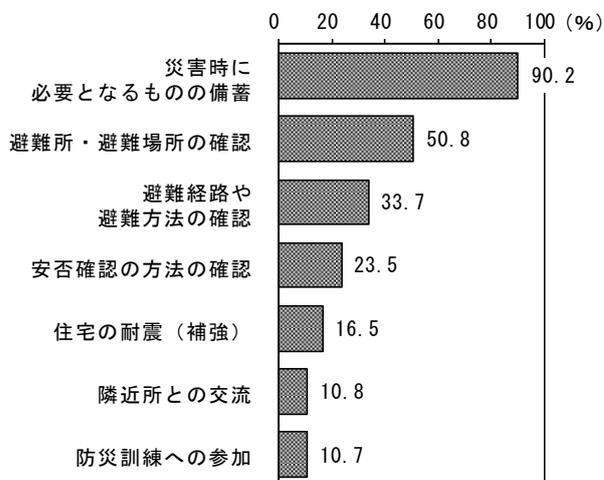
(1) 災害への備え

◇日頃から災害への備えをしている人は6割を超えている



(2) 災害への備えの内容

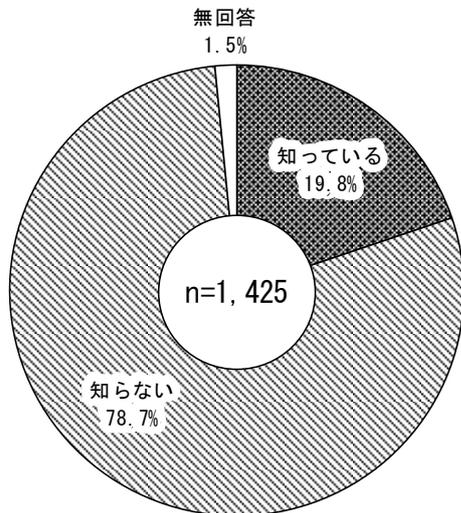
◇「備蓄」をしている人は、最も高く9割を超え、次いで「避難所・避難場所の確認」が5割を超えている



4 電話 de 詐欺（振り込め詐欺等）について

(1) 「振り込め詐欺対策電話機等購入費の補助制度」の認知

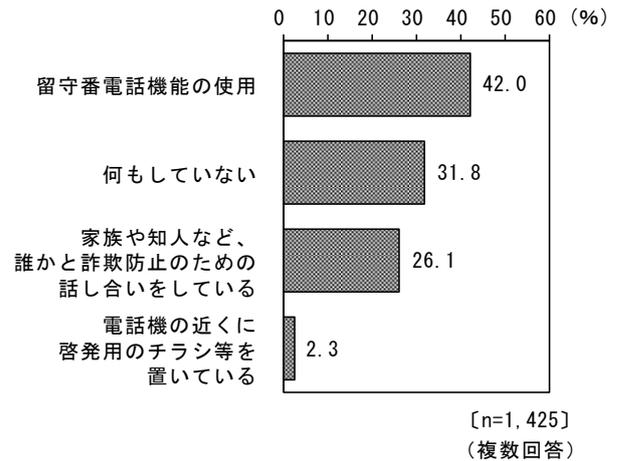
◇補助制度を知っている人は、2割弱に留まる



(2) 詐欺被害に遭わないための対策

◇詐欺被害への対策として、留守番電話機能を使っている人は、最も高く4割を超えている

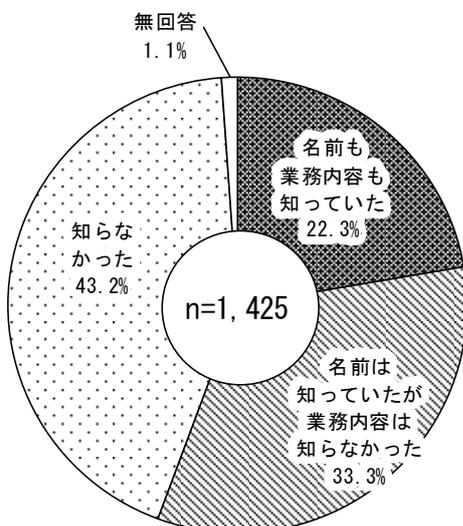
◇一方、何もしていない人も3割を超えている



5 動物の愛護及び管理について

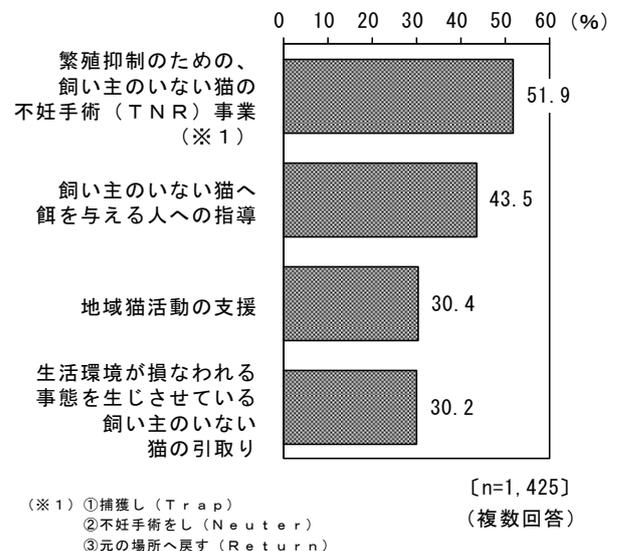
(1) 「動物愛護指導センター」の認知

◇「名前も業務内容も知っていた」と「名前は知っていたが業務内容は知らなかった」を合わせた割合は、5割を超えている



(2) 猫に関する事業で市が重点的に取り組むべきもの

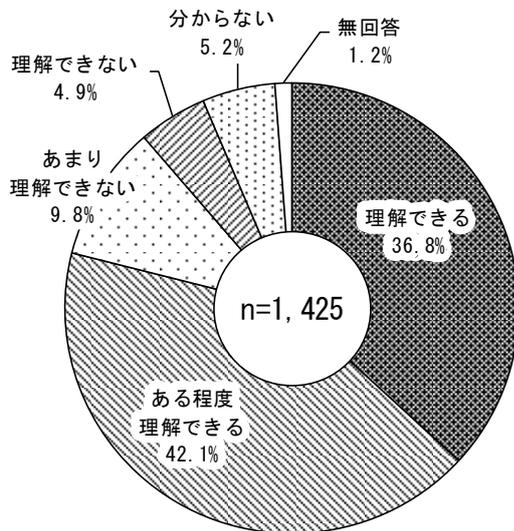
◇「TNR事業」が5割を、「飼い主のいない猫へ餌を与える人への指導」が4割を超えている



6 ごみ施策について

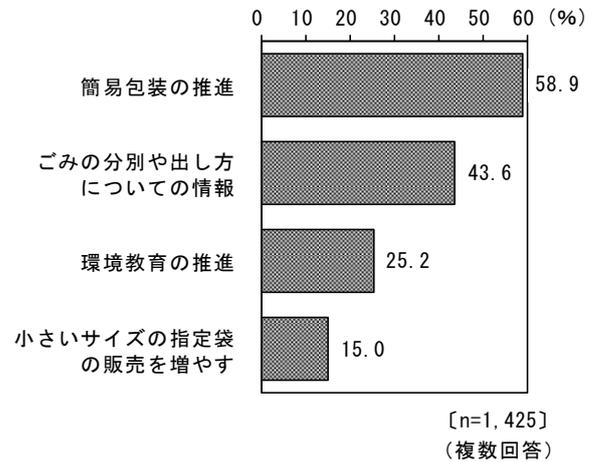
(1) 収集回数の見直しへの理解

◇「理解できる」と「ある程度理解できる」を合わせた割合は、8割近くになる



(2) さらなるごみの減量のために必要だと思うこと

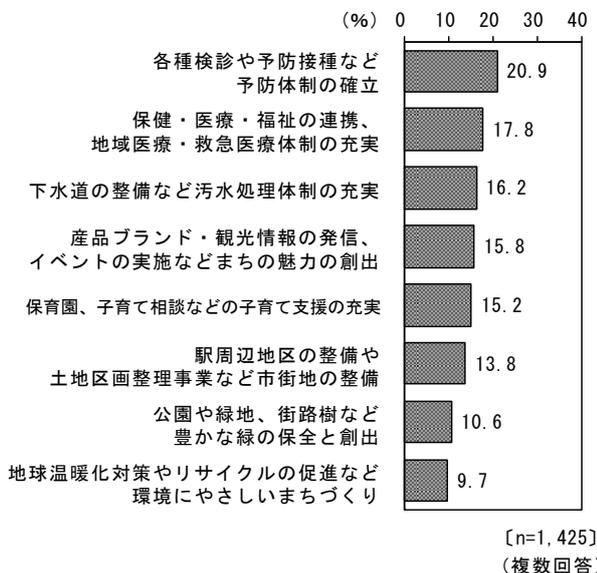
◇「簡易包装の推進」の割合が最も高く6割近くになる



7 市の施策について

(1) ここ数年でよくなったもの (上位8項目)

◇「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が最も高く2割を超えている



(2) 力を入れるべきもの (上位8項目)

◇「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が最も高く5割近くになる

